



発行

(社福) 南足柄市社会福祉協議会
(ボランティアセンター)

神奈川県南足柄市関本403番地2 ↓HPはコチラ
TEL 0465 - 72 - 2299
FAX 0465 - 74 - 3276

E-mail minamivc@muse.ocn.ne.jp

HP <http://www.minamisyakyo.or.jp/>

FB <https://www.facebook.com/minamisyakyo/>



南足柄市社会福祉協議会

ボランティアセンター

かわら版

新しいチャレンジ！自分を活かして広がる可能性！

春はすぐそこ。ボランティアセンターと一緒に新しいチャレンジを続けてくださった方をご紹介します！
何かを始めたくなる季節。想いや経験を活かしてできることがきっとあります！

むらしま みえこ
村嶋 三子さん

岩原在住。令和3年度から市身体障害者福祉協会役員を務めている。1歳でポリオにかかり肢体不自由にはなったものの、21歳の頃に東京(鶯谷)の編み物学院の学院長へ手紙を送り、入学が許可される。同時に1年半の寮生活も経験。その後、長年、編み物講師として小田原と南足柄で教室を運営。

チャレンジ① 寺子屋「おやこ・お菓子福祉教室」

身体障害者福祉協会の会員の皆さんが講師を務める“おやこ・お菓子福祉教室”に3年前から参加。子どもや保護者と一緒にクッキーを作ります。毎回手作りジャムも提供。

「最近のお母さんは、子どもの主体性を大切にしているいいね」「小学1年生が小さな手で上手に生地をこねていてかわかった」と村嶋さん。

編み物を教えていただけあって、いいところを見つけて、ほめるのがとても上手です。

人との出会いで世界が広がってきました。その喜びを相手の方に伝える“誠意”を大切にしています。



チャレンジ② 市内小学校に出向いての福祉教育

「トイレも着替えも、当たり前のようにやっているように見えるかもしれないけれど、車いすでの生活には、やっぱり大変なところもあります。こういうところは困るんだろうなと想像できる気持ちを、子どもたちに持ってもらえたら嬉しいです」
一小学生の頃から自分を障がい者と思ったことはないという村嶋さんから子どもたちへのメッセージはとてまっすぐ。「思いついたことはまずやってみる。皆さんも何にでもチャレンジしてください！」。



チャレンジ③ やってみたいこと やってほしいこと

これからのことを何うと「子どもたちに編み物を教えてみたいです。一緒に何かを完成させたいな、と思います」。「夫と暮らしているので買い物や移動で困ることは少ないです。ただ、好きな映画や音楽鑑賞に一緒に行ってもらえるようなボランティア活動があったら嬉しいです、楽しいだろうなと思います」。

おすすめ本のコーナー

“四つ葉の会 おはなし会”の皆さんによる“おすすめ本のコーナー”は今回が最終回。最後は、長く愛され、読み継がれるシリーズをご紹介します。

教えてくれた人 “四つ葉の会 おはなし会”のみなさん

(劇団ぽぽ・おはなしぽけっと・おはなしサークルりぼん・おはなし青い鳥・おはなしサークル「あのね」・おはなしビスケット)



『ぐりとぐら』
作：中川 李枝子
絵：大村 百合子
出版社：福音館書店

1967年発行。世代を越えて人気のある絵本です。
ネズミのぐりとぐらが、大きなたまごを見つけ、カステラを焼くことに。ページ中央に黄色い大きなカステラがドンと登場！甘い、いい香りがしてきそうな大好きな場面です。



『雪虫』 著：婦人の友社
出版社：中央公論

現在11冊出ている「鳴沢了」シリーズの1冊目。正統派の刑事小説でありながら、2冊目以降は三代(父・祖父)にわたる刑事一家の親子の確執と家族のありようが様々な角度から描かれ、ファミリーストーリーを読んでいるような気がしてきます。



令和4年度
かわら版 発行日



◆みなさまの声をお寄せください◆

例えば…「こんな記事を増やしてほしい」

「市内のあの場所にも置いてほしい」など

など。お応えできるように努めます！

①6月号(5月25日発行)

②9月号(8月25日発行)

③12月号(11月25日発行)

④3月号(2月25日発行)

ボランティア・地域福祉活動情報

中沼福祉会 みんなで慰問活動

各地域福祉会では、高齢者の見守りを目的とした慰問活動があります。季節の花や食べ物、会員手作りの手芸品をお渡ししたりと特長はさまざまです。今回は、会員が一丸となって慰問活動に取り組む中沼福祉会のお二人にお話を伺いました。

発足時からの歴史ある活動

慰問活動は30年以上前から続いています。当時は70歳以上の方を対象に年賀はがきや洗剤を届けていました。会員の知り合いで、農家や吉田島高校とつながりをもつことができ、平成5年からシクラメン等のお花をお渡しすることになりました。年末にお届けするのでとても喜ばれています。高齢化が進み、今では80歳以上の方が対象になりました。



毎年、慰問前に撮る集合写真を総会資料の表紙にしています。

今年は工夫して取り組む

例年だと、自治会の文化祭や「春木径・幸せ道桜まつり」バザーの売り上げで慰問品を購入していましたが、コロナ禍で2年連続でバザーが中止になってしまいましたが、福祉会役員で「今年は何かできないか」と考え、マスクをお渡しすることにしました。対象の方が「助かるよ、ありがとう」と喜んで受け取ってくださったのが印象的です。外出もままならない現在の状況ですが、早く地域の皆さんが気軽に声をかけ合い、立ち話のできるような暮らしに戻れたらと思います。



あきら
杉本晃さん
(中沼福祉会長)



まさとし
加藤正敏さん
(民生委員)

継続する＝“偉大なるマンネリ”

民生委員と協力し、組内や受け取る方とのつながりを考え、訪問する家を分担しています。年末に伺うので、訪問先では「よいお年をお迎えください」と伝えながら世間話をしています。そこでは、新たな転入者と顔を合わせることもできています。福祉会の活動は、マンネリのこともあります。今ある活動を継続することが大切だと思います。



中沼は、薬師堂を中心に地域が開けていきました。薬師堂は広場も大きく、境内には公民館もあり、昔も今も子どもたちの遊び場です。今回インタビューさせていただいたお二人も、子どもの時は「薬師堂の戸が開いていて、そこで遊んだり、雨宿りしたものだよ」と教えてくれました。最近新しい家が増え、子どもたちの声が響いて微笑ましいとのこと。今年は、12年に一度の御開帳なので、地域一丸となって準備をすすめているとのことでした。

ありがとうございました。

今までありがとうございました

矢車草の会より 活動終了のお知らせ

平成14年に発足以降、2市8町の車いすレクダンスや足柄療護園での活動、市内小中学校において福祉教育などにご協力いただきました。

長きにわたる活動、おつかれさまでした。

詳しくは、広報誌「社協みなみあしがら」4月号で詳しくお伝えします。



活動の前日までには手続きをお済ませください！

ボランティア活動のお守り 令和4年度ボランティア保険の加入受付開始

新年度のボランティア保険は **3月8日(火)より** 受付を開始します。以降、随時受付いたします。

◆「ボランティア活動保険」についてののみ、次の通り変更がありました◆

【令和3年度】

プラン	基本	天災・地震
年間保険料	350円	500円

* 特定感染症への補償は、補償開始日から10日以内は対象外でした

【令和4年度】

基本	天災・地震	【新設】 特定感染症重点
350円	500円	550円

* **【新設】** 特定感染症重点プランは、補償開始初日から対象になります。特に被災地支援の場合は要チェックです。

ご不明点などは、ボランティアセンターまでお気軽にお問合せください